

ULVACのサステナブル経営

あらゆる事業活動の根底には、経営基本理念である「真空技術及びその周辺技術を総合利用することにより、産業と科学の発展に貢献することを目指す」という考えがあります。私たちは、パートナーとともに真空技術で最先端技術を追求し、社会的責任を果たしながら真空技術で持続可能な社会づくりに貢献していきます。

経営基本理念

アルバックグループは、互いに協力・連携し、真空技術及びその周辺技術を総合利用することにより、産業と科学の発展に貢献することを目指す。

サステナビリティ方針

アルバックグループは、真空技術及びその周辺技術の総合利用により、経済価値、社会価値、環境価値を創造する。

2050年にありたい姿

真空技術で世の中のためになる価値をパートナーとともに生み出し、人と地球の未来に貢献し続けている企業

経済成長・社会的豊かさ — 最先端の技術開発でより安全・安心、かつ豊かで便利な社会の実現に貢献する
人の幸せ — すべての人が幸せな生活を送るための社会づくりに貢献する
環境 — 地球にやさしく持続可能な社会づくりに貢献する

Vision 2032

未来につながる可能性の場であり続ける

マテリアリティ

- 真空技術をコアとしたイノベーションの創出・共創の推進
- 多様な人財の育成と活躍推進・レジリエントな組織づくり
- バリューチェーンにおける人権尊重・責任ある行動
- 持続可能な地球環境への貢献

マテリアリティの特定プロセス

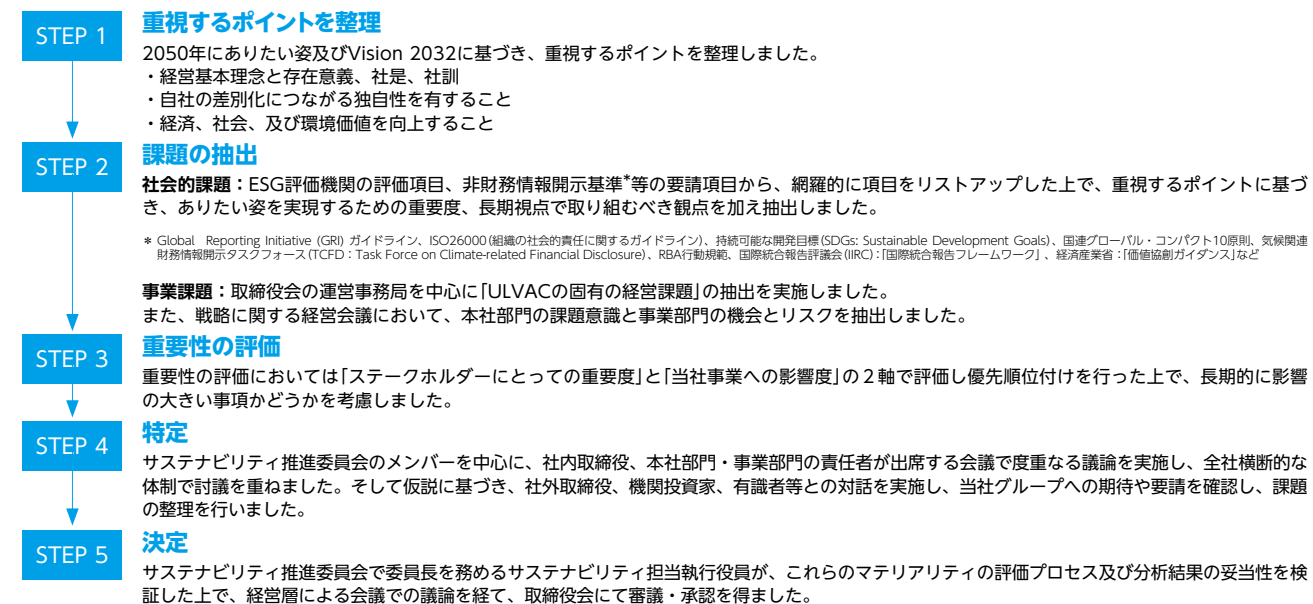
詳細 [WEBサイト>>](#)

[サステナビリティ>アルバックのサステナブル経営](#)
[>マテリアリティ](#)

基本的な考え方

マテリアリティの特定プロセスにおいては、内部での検討・議論を深めるとともに、社外取締役、社外有識者、機関投資家等と対話を重ねてきました。そこで得られた示唆の結果として、マテリアリティを企業価値向上の観点からより幅広く捉え、「2050年にありたい姿及びVision 2032の実現に向けたULVACの固有の経営課題」として位置付けました。

特定プロセス



詳細 [WEBサイト>>](#)

[サステナビリティ>アルバックのサステナブル経営](#)
[>アルバックのサステナビリティ](#)

推進体制

社長直轄のサステナブル経営推進室を設置し、グループ全体でサステナビリティの取り組みを推進しています。年2回開催されるサステナビリティ推進委員会では、社内取締役、執行役員及び部署長が参加し、サステナビリティに関する目標設定・進捗管理、方針の検討、重要テーマへの取り組みなどについて討議を行っています。重要案件については、取締役会の決定した経営方針に基づいて重要な業務執行に関連する事項について審議を行う機関である経営会議等において、適宜報告や決議を実施しています。また、サステナビリティ担当執行役員は、サステナビリティ推進委員会の内容及びグループ全体のサステナビリティの取り組みについて取締役会に報告し、取締役会は業務執行状況を的確に把握し、適切に監督しています。

推進体制図

